



マルチアクセスステーション

SCABLE

ソアブル

「よくある質問」操作ガイド

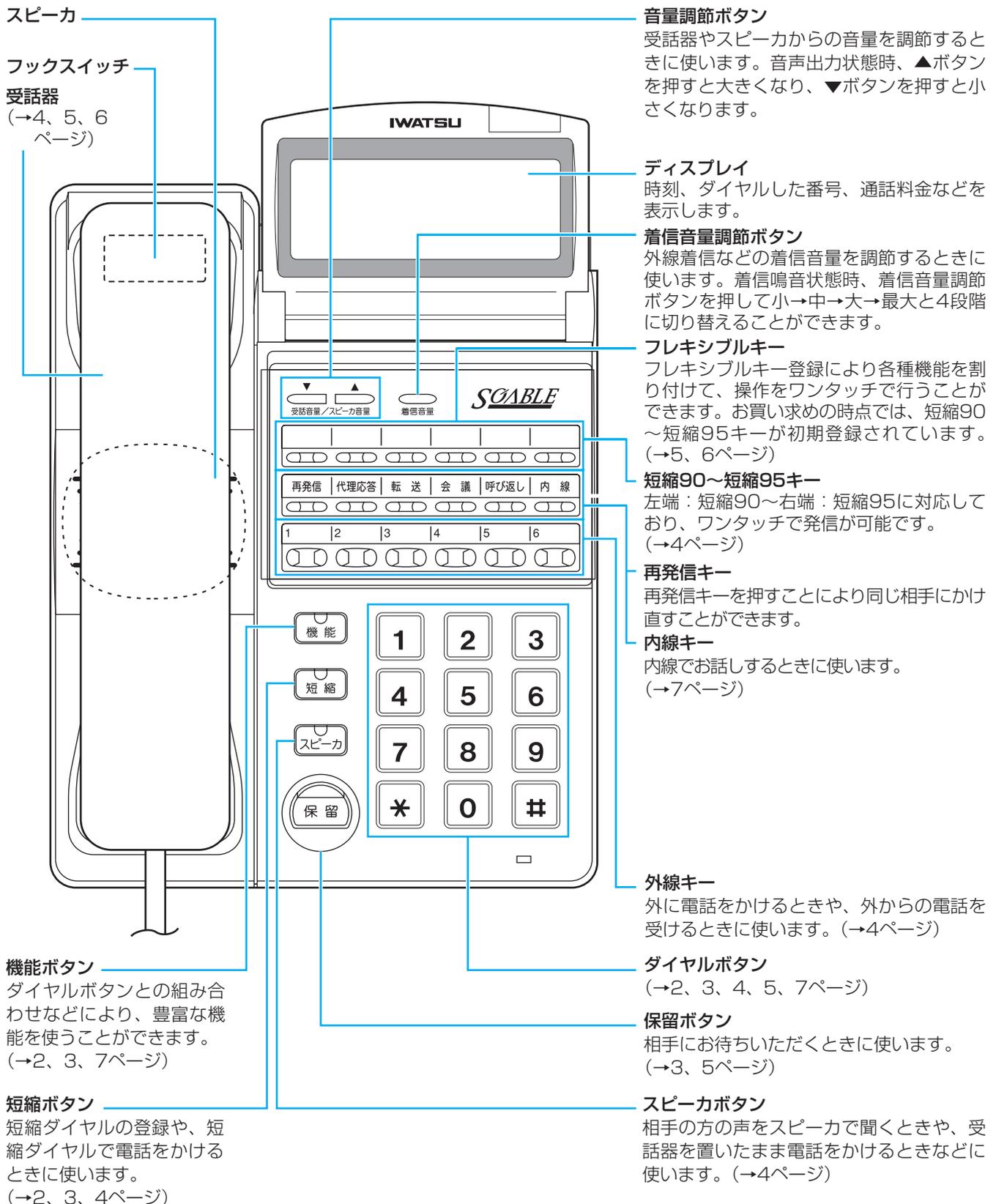
SOABLE 「よくある質問」 操作ガイド

ソアブル

目次

各部のなまえとはたらき	1
短縮ダイヤルを利用するとき〈共通短縮ダイヤル（および個別短縮）〉	2
相手先の電話番号の登録方法	2
相手先の電話番号の登録を変更するとき	2
相手先名の登録方法、登録を変更するとき	3
相手先名の登録方法	3
相手先名の登録を変更するとき	3
短縮ダイヤルを利用するとき	4
共通短縮ダイヤル（個別短縮）でかける	4
ワンタッチダイヤルでかける	4
転送電話	5
転送先電話番号の登録方法	5
転送先電話番号の確認方法	5
転送先電話番号の削除方法	6
転送電話動作の開始、および解除	6
転送電話の開始	6
転送電話の解除	6
システム電話機の確認	7
時刻調整	7

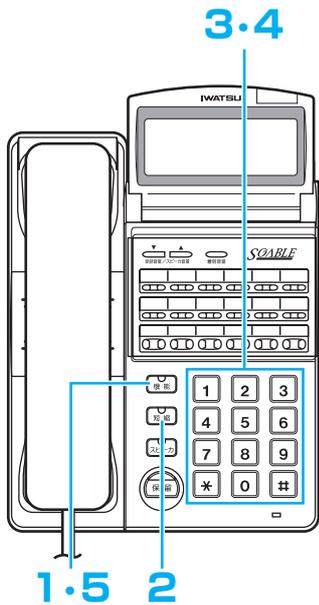
各部のなまえとはたらき



Note

各機能はデータ設定によって設定されています（この図は初期設定状態をあらわしています）。

短縮ダイヤルを利用するとき〈共通短縮ダイヤル（および個別短縮）〉



相手先の電話番号の登録方法

相手先の電話番号の登録方法

- 1 システム電話機の手話器を置いたまま「機能」ボタンを押します。
 - ・短縮番号：00～89の共通短縮ダイヤルの登録はシステム電話機からの入力となります。（→7ページ）
 - ・個別短縮：90～99は各電話機からの入力となります。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 登録する短縮番号（00～89）をダイヤルします。
 - ・個別短縮登録は短縮番号：90～99を押します。
- 4 相手の電話番号をダイヤルします。
- 5 「機能」ボタンを押します。



Note

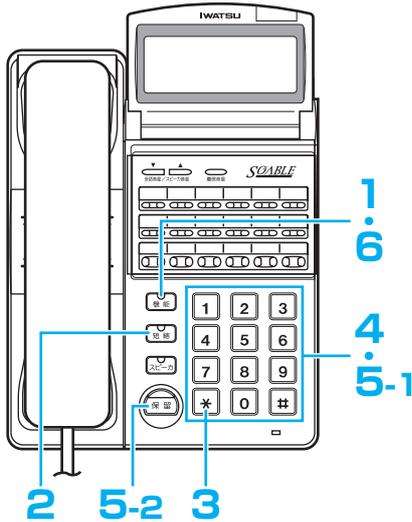
- ・システム電話機とは主装置本体のメモリーデータ設定できる親電話機です。
- ・1つの短縮番号には32桁以内のダイヤルと、10桁以内の文字が登録できます。
- ・ISDN回線で短縮ダイヤルを利用するときは、相手の電話番号のあとに「#」ボタンを登録してください。

相手先の電話番号の登録を変更するとき

上記の「相手先電話番号の登録方法」の手順（1）～（5）を繰り返すことで、自動的に前の登録内容が書き換えられます。

相手先名の登録方法、登録を変更するとき

相手先名の登録方法



- 1 システム電話機の手受器を置いたまま「機能」ボタンを押します。
 - ・短縮番号：00～89の共通短縮ダイヤルの登録はシステム電話機からの入力となります。(→7ページ)
 - ・個別短縮：90～99は各電話機からの入力となります。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 登録する短縮番号(00～89)をダイヤルします。
 - ・個別短縮の登録は短縮番号：90～99を押します。
- 5 相手先名(10文字以内)を入力します。
 1. 「*」ボタンでカタカナ入力モード、英数字入力モードを選択します(最初は英数字モードになっています)。
 2. ダイヤルボタンで文字を選択し、その都度「保留」ボタンで確定します。(文字対応表参照)
再度「保留」ボタンを押すと1つ前の文字がキャンセルされます。
- 6 「機能」ボタンを押します。

相手先名の登録を変更するとき

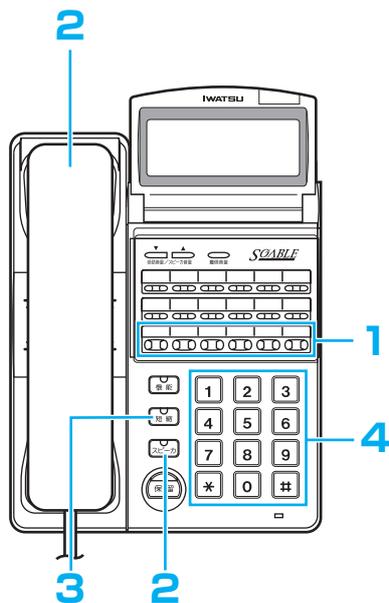
上記の「相手先名の登録方法」の手順(1)～(6)を繰り返すことで、自動的に前の登録内容が書き換えられます。

文字対応表

数字(0～9)を押すごとに、対応する表示文字が変わります。たとえば、英数字モードのとき2を押すと、「A→B→C→2」の順に、カタカナモードのとき「2」を押すと「カ→キ→ク→ケ→コ→2」の順に表示が変わります。

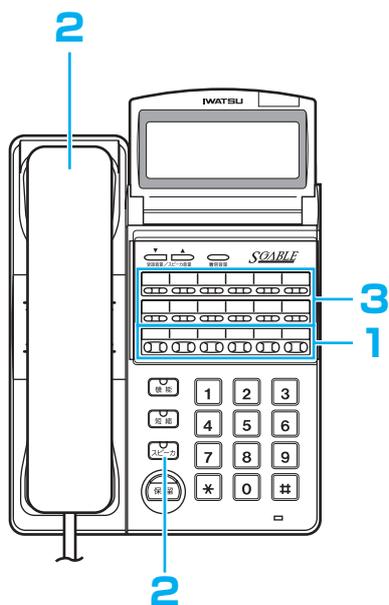
ABC2	カキクケコ2	アイウエオ1	サシスセソ3
-.□1	1	2	3
JKL5	ナニヌネノ5	タチツテト4	ハヒフヘホ6
GHI4	4	5	6
TUV8	ヤユヨ8	マミムメモ7	ラリルレロ9
PRS7	7	8	9
QZ&0	ワヅ ` - 0	* 0	* 0
カタカナモードへの切り替え	* 0	#	#
	大文字/小文字切り替え	英数字モードへの切り替え	大文字/小文字(アウエオ)の切り替え

短縮ダイヤルを利用するとき



共通短縮ダイヤル（個別短縮）でかける

- 1 空いている「外線」キーを押します。
「外線」ボタンが緑色に点滅します。
- 2 受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。
「ツー」というダイヤル音が聞こえます。
※手順(2) → (1)の順でもかかります。
- 3 「短縮」ボタンを押します。
- 4 相手の短縮番号をダイヤルします。
・個別短縮をダイヤルの場合、短縮番号：90～99を押します。
ディスプレイには登録されている電話番号と相手先名が表示されます。

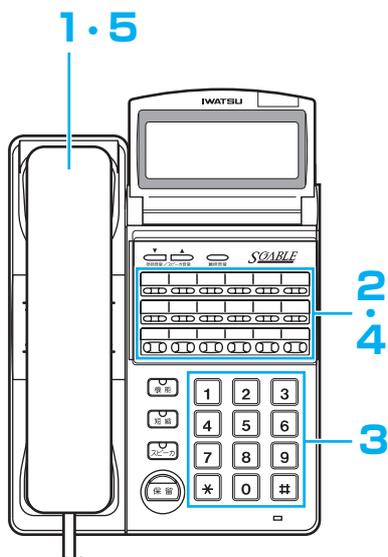


ワンタッチダイヤルでかける

- 1 空いている「外線」キーを押します。
「外線」ボタンが緑色に点滅します。
- 2 受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。
「ツー」というダイヤル音が聞こえます。
※手順(2) → (1)の順でもかかります。
- 3 ワンタッチダイヤルボタンを押します。
ワンタッチボタン（左端：短縮90～右端：短縮95）に登録の電話番号にダイヤルします。

転送電話

かかってきた電話を外部にある電話機に転送できます。



Note

- 転送できる外線はISDN回線に限ります。
- 転送できる外線、転送電話のグループ、転送監視時間などは、あらかじめデータ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

転送先電話番号の登録方法

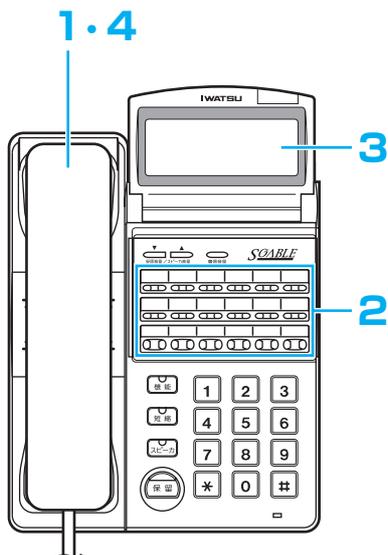
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送電話」キーを押します。
注：「転送電話」をご利用の場合、販売店のデータ設定により未使用のフレキシブルキーに「転送電話」ボタンの割付が必要です。
- 3 転送先の電話番号を48桁以内でダイヤルします。
※ 短縮ダイヤルの場合は、「短縮」ボタンを押して、続けて転送先の短縮番号をダイヤルします。
※ 相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する1～9の数字ボタンを押します。

- 4 「転送電話」キーを押します。

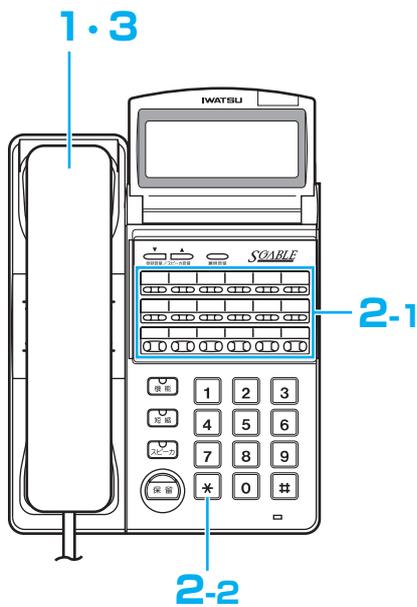
- 5 受話器を置きます。

転送先電話番号の確認方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送電話」キーを押します。
- 3 転送先の電話番号がディスプレイに表示されます。
- 4 受話器を置きます。



転送電話 (つづき)



転送先電話番号の削除方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送電話」キーに続いて「*」ボタンを押します。
※取り消しが完了すると確認音が聞こえます。
- 3 受話器を置きます。

Note

- 転送先電話番号の確認は、登録を行った多機能電話機からしかできません。
- 転送電話の取り消しは、登録を行った多機能電話機からしかできません。
- 転送電話登録中は「転送電話」ボタンが赤色に点灯します。

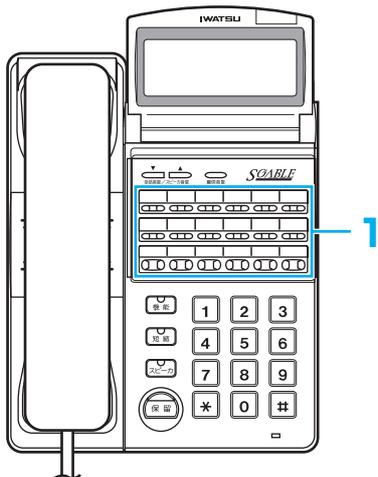
転送電話動作の開始、および解除

● 転送電話の開始

- 1 フレキシブルキーに割り付けた「転送電話」ボタンを押し、赤点灯することを確認します。

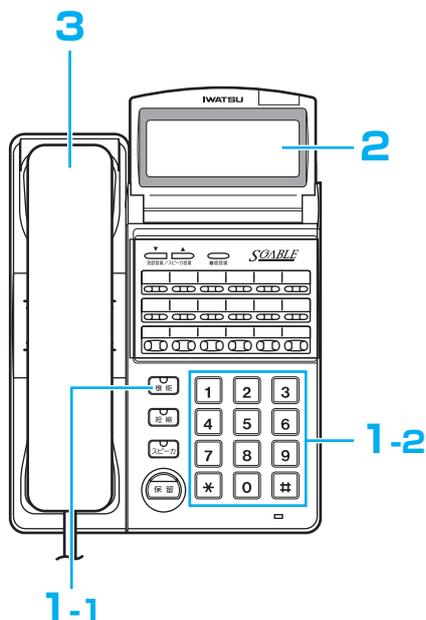
● 転送電話の解除

- 1 赤点灯している「転送電話」ボタンを押し、消灯を確認します。



システム電話機の確認

共通短縮ダイヤルの登録および時刻調整などの操作は、システム電話機からの操作が条件です。



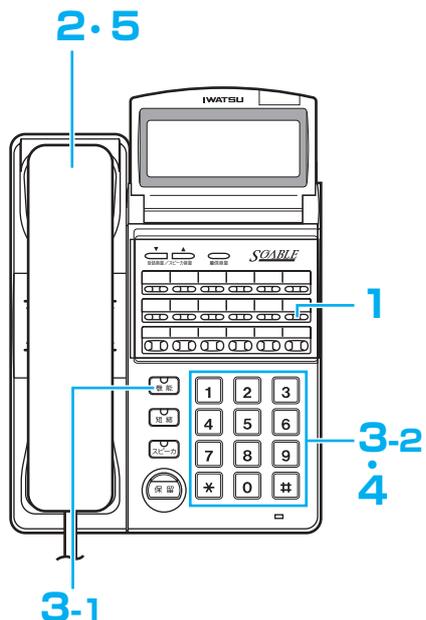
1 確認する電話機で、「機能」ボタン+「9」「9」を押します。

2 画面に小文字sが表示されることを確認します。
※システム電話機以外の電話機では、小文字sは表示されません。

3 受話器を上げ下げします。
ディスプレイ表示がリセットされます。

時刻調整

システム電話機から時刻を入力設定するとシステム全体の時刻が修正されます。



1 「内線」キーを押します。

2 受話器を取り上げます。
「ツツ、ツツ、ツツ」という内線接続音が聞こえます。

3 「機能」ボタン+「6」「4」を押します。
「ジコクセッテイ hh:mm」と表示されます。

4 時刻を入力します。
(例：午後3時30分→1530)
「ポツ、ポツ、ポツ」という音が聞こえます。

5 受話器を置きます。
全ての電話機の時刻表示が最終表示に替わります。

